

ほそごう学園とは

「ほそごう(細郷)」は中世から明治まで現在の伏尾台を含む細河地域を総称する名称として使われていた地名です。明治7(1874)年には、この地域初の学校として細郷小学校(現・細河小学校)が開校されました。それから90年近くの年月を経て、1980年代はじめに伏尾台小学校、細河中学校が相次いで開設されました。

いわば、「ほそごう」の名は、細河・伏尾台地域の学校のルーツとも言えましょう。そして、現在の教育課題の解決と子どもたちの豊かな育ちのために開校する新しい小中一貫校は、細郷地域の教育の原点を表す「ほそごう」を学園名として採用しました。

ほそごう学園がめざす教育: 9年間一貫して子どもを育てる

これまでの細小・伏小・細中教育のよき伝統を継承しつつ、現在の教育課題を解決するために小中の教職員が協働して、9年間に渡り、子どもを指導・支援するための新たなステージで教育活動を行います。そのキーワードになるのがユニバーサルデザインという考え方です。



▶ 学校教育目標

確かな学力と豊かな人権感覚の育成を仲間とともに

地域の特性を活かし、9年間の一貫した教育の中で、子どもたちに確かな学力と豊かな人権感覚を育て、仲間と協働し、自らの進路を切り拓く力を育成する。

▶ めざす子ども像

- ① 学び合う喜びを感じ、自ら学ぶ子
- ② 生命を大切にし、人権尊重の社会とともに築く子
- ③ くらしを見つめ、自らの生き方を切り拓く子
- ④ 目標をもって、最後までやりきる子
- ⑤ 地域を愛し、地域とともに歩む子

▶ 重点教育方針

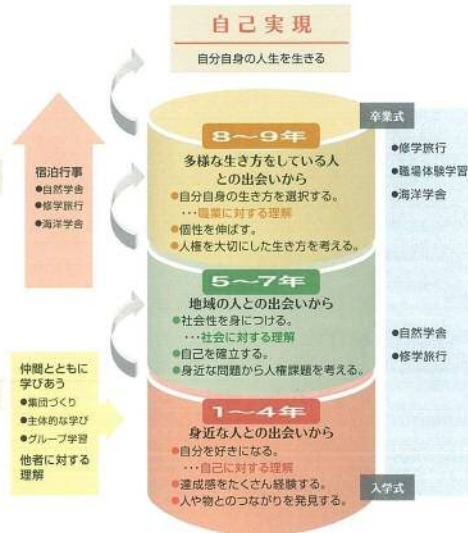
ユニバーサルデザインで育てる9年間の学びと育ち

子ども一人ひとりが大切にされ、子どもどうしがつながり、子どもたちが主体的に学習に参加できる教育環境を整えること

教育環境とは

- 教室のデザイン ● 学校行事
- 授業の組み立て ● 教職員のかかわり

ほそごう学園の教育



義務教育学校のメリットを最大限活かす

1 9年間を一貫して学力と生きる力を育てる

地域と人権とキャリアの学習で

学びの基礎を育てる

- 自然と歴史に彩られた細郷をフィールドに地域を学び、人間関係づくりと人権意識を高め、自ら進路を切り拓くキャリア形成の学習を創造します。

ICT&図書館を活用して学力を高める

- 新しくなるメディアセンター(図書館)とICT(PCなど)を活用し、個に応じた授業を創造します。

中期からの教科担任制の一部導入

- 5・6年から教科担任制を一部導入し、専門性を活かした授業を実施します。

集団の中で生きる力を育てる

- 5年から9年まで宿泊行事を実施し、集団育てる取り組みを行います。

2 9年間に渡る、つながりのある支援教育

小中一貫校としてチーム支援体制をつくる

区切れのない連続した子ども理解をめざす

- 子どもと保護者の声を9年間継続してしっかりと受け止めます。

これまでの育ちを踏まえ、将来の自立をめざす9年間の支援教育を行う

- 9年間の継続した視点での「個別的教育支援計画及び指導計画」を作成します。

支援学級と通級指導教室が連携して、個々の育ちの指導・支援を行う

- 通常学級担任と支援学級担任、通級指導教室担当者が連携して学習を行います。

3 地域・社会とともに育つ学園

地域の中で育てられる学園

- ほそごう学園学校支援地域本部を拡充し、たくさんの方の支援ボランティアを募集します。

地域とともに創っていく学園

- 地域の祭、住民運動会、文化祭、防災訓練など、これまでの地域行事との連携を継続します。

